

研究指導の概要

■ リスク・レジリエンス工学学位プログラム

【課程：博士前期課程】

学年	学期 モジュール		研究内容及び指導方法等
1 年 次	春	A	■ 指導教員・所属研究室の決定 ■ 研究実施（科目名：リスク・レジリエンス工学修士特別研究I） ：指導教員の下でのディスカッション等を通し、研究テーマ決定等を実施 ☐ 研究指導ポートフォリオの提出（教員） ☐ ポートフォリオの提出（学生，毎月）
		B	◆ 授業科目の受講（研究のための基礎科目の履修） ・リスク・レジリエンス工学修士特別演習I ・リスク・レジリエンス工学グループPBL演習 ・リスク・レジリエンス工学概論
		C	・リスク・レジリエンス工学輪講I（選択） ・リスク・レジリエンス工学修士インターンシップA/B（選択）、等 ★ 第1回達成度評価実施 ※達成度評価委員会は（主指導＋副指導2名以上）で構成され学生ごとに達成度評価についての面談を行い、評価結果を学生にフィードバックする
	秋	A	■ 研究実施（科目名：リスク・レジリエンス工学修士特別研究I） ：指導教員の下でのディスカッション等を通して研究を進める ☐ ポートフォリオの提出（学生，毎月）
		B	◆ 授業科目の受講（研究のための基礎科目の履修） ・リスク・レジリエンス工学修士特別演習I ・リスク・レジリエンス工学グループPBL演習 ・リスク・レジリエンス工学基礎 ・リスク・レジリエンス工学輪講I（選択） ・リスク工学研究会（本学位P主催、授業の一環として聴講）
		C	・リスク・レジリエンス工学修士インターンシップA/B（選択）、等 ★ 第2回達成度評価実施

学年	学期 モジュール		研究内容及び指導方法等
2 年 次	春	A	■ 研究実施（科目名：リスク・レジリエンス工学修士特別研究II） ：指導教員の下でのディスカッション等を通して研究を進める。修士論文中間発表会に向け学位論文執筆準備を進める。 □ 研究指導ポートフォリオの提出（教員） □ ポートフォリオの提出（学生，毎月）
		B	◆ 授業科目の受講（研究のための基礎科目の履修） ・ リスク・レジリエンス工学修士特別演習II ・ リスク・レジリエンス工学輪講II（選択） ・ リスク・レジリエンス工学修士インターンシップA/B（選択）、等
		C	★ 第3回達成度評価実施：学位最終審査時における所定の達成度への到達見通しを確認する。
	秋	A	□ 秋学期初めの修士論文中間発表会において成果・進捗を審査する。さらに研究を深めつつ、学位論文執筆に着手する。 ■ 研究実施（科目名：リスク・レジリエンス工学修士特別研究II） ：指導教員の下でゼミ・ディスカッション等を通して研究ならびに学位論文執筆を進める。
		B	◆ 授業科目の受講（研究のための基礎科目の履修） ・ リスク・レジリエンス工学修士特別演習II ・ リスク・レジリエンス工学輪講II（選択） ・ リスク・レジリエンス工学修士インターンシップA/B（選択）、等
		C	★ 第4回（最終）達成度評価実施：所定の達成度へ到達していることを確認する。 □ 学位論文発表会・最終審査により、修了要件の一部である学位論文を審査する。

■ 研究指導 □ 研究進捗評価 ★ 達成度評価 ◆ 授業